

事業実施報告書

学校名 伊東市立八幡野小学校



校長名

渡邊 久士

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
 II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
 III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
 IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
 V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

1 実践テーマ	【スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成】
2 実施対象者	第6学年 1組・2組（計57人） 第5学年 1組・2組（計47人） 合計 104人
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（ 体 育 ） 行事名（ ） ② その他（ ） (2) 地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目 標 (ねらい)	オリンピックの元バレーボール選手の田中（杉山）祥子の講演やソフトバレーボールの実技指導を受けることにより、スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成を図る。
5 取組内容	事前 オリンピックや杉山選手について調べる。 10:35～11:20 オリンピックの元バレーボール選手の田中（杉山）祥子の講演 1 始めのあいさつ（6年生） 2 杉山選手の紹介（教 頭） 3 杉山選手講演会（PPを使って） 40分程度＋質問 ※ 講演を通して、スポーツに対する興味・関心の向上を図ったり、オリンピックに至るまでの杉山選手の努力を学んだりする。 4 子どもからの質問（マイク指名係 清和） 5 お礼の言葉（6年生） 11:25～12:10 ソフトバレーボールの実技指導（杉山選手） 1 あいさつ（6年生） 2 準備体操 3 アンダーレシーブ、オーバーハンドパス等基本動作を学ぶ 4 杉山選手のスパイク ※ プレーを間近で見ることでオリンピックのすごさを実感する 5 お礼の言葉（6年生） 事後 事後指導 学習を振り返り、まとめを行う。（お礼手紙等も）

6 主な成果	講演会より ・自らの生活と重ね合わせながら小学校や中学校時代の経験を聞くことにより、生活する上での参考となることが多かった。また、今後の生活を送る上での参考になった。 ・杉山選手の講話は分かりやすく子どもの心に響くものであった。また、キーワードとなるような言葉を質問形式で子どもとやりとりするなど飽きることなく最後まで集中して話が聞けた。 実技指導 ・ソフトバレーボールの基本動作を分かりやすく指導してもらえたため、短時間ではあったが楽しく技能を身につけることができた。 ・杉山選手のスパイクを目の前で見ることにより、オリンピック選手の凄さを実感したり、感動したりできた。また、バレーボールに興味をもった児童が多かった。
7実践において工夫した点 (事業の特色)	・体育のソフトバレーボールの指導をタイアップさせることで子どもの興味関心が増した。 ・事前指導を行ったことにより、杉山選手がどういう人物であるのかを一定の知識を持って参加できた。そのため、興味関心が高まったり、親近感が増した。 ・講演会を行った後、実技指導を行ったことでバレーボールを行う意欲を高めて参加できた。
8主な課題等	・時間の制約があったため、事前事後の指導が十分できなかった。 ・欲を言えば、単発でなく継続した事業を行いたかった。 ・予算が限られているため、かかる費用を考えながらの計画となった。
9来年度以降 の実施予定	未定（予算が取れるなら、継続して考えたい）